

公益社団法人日本地震学会 2018 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 2018 年 5 月 23 日（水）19 時 00 分～20 時 15 分

2. 開催場所 幕張メッセ国際会議場 103 室

3. 総社員数 140 名

4. 出席社員数 出席代議員総数 107 名（定足数 71 名）  
内通常代議員 90 名  
役員代議員 17 名  
出席代議員数（本人出席） 82 名  
出席代議員数（委任状出席） 25 名

5. 議長 通常代議員 有吉 慶介

6. 出席役員

理 事（会長）	山岡 耕春
理 事（副会長）	谷岡 勇市郎
理 事（副会長）	古村 孝志
理 事（常務理事）	木下 正高
理 事	岩田 貴樹
理 事	片尾 浩
理 事	河合 研志
理 事	津村 紀子
理 事	鶴岡 弘
理 事	中川 和之
理 事	馬場 俊孝
理 事	松島 信一
理 事	山野 誠
監 事	石川 有三
監 事	加藤 照之
監 事	鈴木 善和

7. 議事録作成者 事務局 中西 のぶ江

8. 決議事項

第 1 号議案：2017 年度事業報告書承認の件  
第 2 号議案：2017 年度収支決算報告書承認の件  
第 3 号議案：理事及び監事選任の件  
第 4 号議案：役員報酬の件

## 第5号議案：名誉会員承認の件

### 9. 報告事項

1. 2018年度事業計画の件
2. 2018年度収支予算の件
3. その他

#### 10. 議事の経過の要領及びその結果

木下常務理事から、定足数を充たす社員の出席が認められたので、定款第32条により公益社団法人日本地震学会2018年度定時社員総会を開催する旨の宣言があり、その後、山岡会長より挨拶があった。引き続き議長に有吉慶介氏を選出した。議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるにあたり、山岡耕春会長、古村孝志副会長の理事2名を議事録署名人に選任したい旨を諮り、満場一致でこれを可決した。続いて、次の議案について逐次審議することとなった。

#### 第1号議案

##### 2017年度事業報告書承認の件

議長の指名により、木下常務理事から2017年度の事業報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。報告書に記載された氏名に関して修正の指摘があり、訂正することとした。また、地震火山こどもサマースクールへの参加人数の質問があり、中川普及行事担当理事が回答した。質疑応答の後、議長は議案を諮り全会一致で本議案を承認した。

#### 第2号議案

##### 2017年度収支決算報告書承認の件

議長の指名により、鶴岡会計担当理事から2017年度の収支決算報告書について、配布資料に基づき説明が行われた。秋季大会の助成金収入についての質問があり、事務局が回答した。大口寄付者について感謝状等の対応をしたほうが良いのではとの意見があり、事務局から寄付者の匿名の意向に沿った対応を行っていることを回答した。監査報告書に関する質問があり、鶴岡会計担当理事より公認会計士および監事による監査を受けたことが回答された。質疑応答の後、議長は議案を諮り全会一致で本議案を承認した。

#### 第3号議案

##### 理事及び監事選任の件

議長の指名により、木下常務理事から、本定時社員総会の終結と同時に任期満了となる役員に代わり、新たに後任者の選任が必要となる旨の説明が行われた。理事候補者15名、監事候補者3名の選任について候補者1名毎に審議した結果、全会一致でこれを承認した。選任された理事及び監事は以下の通りである。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

理 事	山岡	耕春
理 事	内出	崇彦
理 事	大林	政行
理 事	加藤	護

理 事	河原	純
理 事	久家	慶子
理 事	汐見	勝彦
理 事	竹内	希
理 事	田中	聡
理 事	中川	和之
理 事	根本	泰雄
理 事	古村	孝志
理 事	干場	充之
理 事	松島	信一
理 事	三宅	弘恵
監 事	尾形	良彦
監 事	末次	大輔
	定款第 18 条第 7 項による監事	
監 事	鈴木	善和

第 4 号議案 役員報酬の件  
議長の指名により、木下常務理事から選任された定款第 18 条第 7 項による監事の報酬において配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、全会一致で承認した。

第 5 号議案 名誉会員承認の件  
議長の指名により、山岡会長から梅田康弘氏、岡田義光氏を名誉会員に推挙する件について、配布資料に基づき説明が行われた。これに対して議長は議案を諮り、全会一致で承認した。

報告事項 1 2018 年度事業計画の件  
平成 29 年度第 5 回理事会（2018 年 3 月 9 日開催）で承認された 2018 年度事業計画について、木下常務理事から配布資料に基づき説明が行われ、質疑応答があった。秋季大会の講演予稿の締め切りについての意見があり、2019 年度以降の秋季大会において検討するとの回答があった。

報告事項 2 2018 年度収支予算書の件  
平成 29 年度第 5 回理事会（2018 年 3 月 9 日開催）で承認された 2018 年度収支予算について、鶴岡会計担当理事から配布資料に基づき説明が行われ、質疑応答があった。大幅な赤字予算を立てることについての意見があり、鶴岡会計担当理事から現在も検討を行っているが、引き続き検討を行うとの回答があった。ジオパーク支援委員会の活動費について質問があり、中川理事より活動費については新たな予算の計上ではない旨の回答があった。教員免許状更新講習の収益増加の積算根拠に関する質問があり、事務局より昨年度の実績を鑑み、受講定員の 6 割が受講し

た場合を想定して計上を行ったとの回答があった。秋季大会の講演予稿集の印刷経費の計上について質問があり、事務局から予稿集冊子体の印刷費ではなく CD-ROM 作成費等である旨の回答があった。

#### 報告事項 その他

1. 財務・運営に関する検討結果と実施する対策について  
山岡会長より財務・運営に関する検討結果と実施する対策について報告が行われた。会員増加策・収入増加策の見込み等について質問があり、長期的な対応策であるため、すぐに見込みを提示することは難しいとの回答があった。また、シニアの会員の優遇措置について、提示された優遇措置を設けることは適切ではないとの意見があり、優遇措置の内容について改めて検討するとの回答があった。
2. 会費規程の改定について  
山岡会長より、財務・運営に関する検討結果と実施する対策の一環として、会費規程の改定を検討していることが報告された。
3. 日本地球惑星科学連合大会に関するアンケート調査について  
山岡会長より、日本地球惑星科学連合大会に関するアンケート調査について、選択項目のアンケート調査の結果をニュースレターに公表したほか、自由記述を含むアンケート調査の結果を日本地震学会員である日本地球惑星科学連合（以下、連合とする）の代議員へ周知したことが報告された。アンケート調査に関する日本地震学会の対応について質問があり、連合代議員にアンケート調査の結果を周知したことが日本地震学会の対応であることが改めて説明された。
4. EPS 誌の論文出版料（APC）および財政の今後について  
山岡会長より、EPS 誌の論文出版料（APC）および財政の今後について EPS 誌関連 5 学会会長による会合において決定した方針が報告された。

#### 1 1. 閉会

以上により本日の議事をすべて終了し、議長は閉会を宣言した。